



うららか白河

大木えり ニュースレター

2023年5月発行 vol.7



発行:大木えりを応援する会 〒961-0932 白河市南町4 Eメール:info@oki-eri.com

若者の声、女性の声、子育て世帯の声を市政に!

うららか白河vol.7をお手にとつていただき誠にありがとうございます。

私は市内在住の36歳。市議会議員をやりながら、小学生2人の男の子を育てているママです。短大卒業後から今年3月まで、市内私立幼稚園・認定こども園で働いていました。若い世代の視点、女性としての視点、幼児教育に携わってきた視点、ママとしての視点から市政に問題提起できる存在になりたい。また皆さんにとって身近な存在の議員になりたいという思いから、日々活動をしています!

大木えり 4年間のあゆみ

※令和5年4月現在まで

議員・議会の見える化を実現するために

私のニュースレター「うららか白河」を主に新聞折り込みにて6回発行し、議員としてどのような活動してきたかわかるよう紙面でお伝えしてまいりました。また、InstagramやTwitterなど、SNSを活用し、日々の活動を随時発信しています。また、1年前からより議会活動を身近に感じてもらえるようYouTubeによる動画配信にもチャレンジしているところ です。

Instagram

Twitter

Youtube

ホームページ



皆さんの声を集めるために

エリミーティング(広聴会)の開催では8名の方にお越しいただいたほか、私のオフィシャルサイトやメール、SNSのツールを使ったダイレクトメールのやり取りなどを通して、市民の皆さんと個別の面談や相談、要望を承ってまいりました。また、コロナ禍の中、インターネットを活用した学校教育に関するアンケート調査を行い、95名の方から回答をいただきました。



皆さんの声を形にするために

要望などを実現できるよう、現地調査を行った箇所は90か所を超えました。一般質問を行った回数は全15回の定例会のうち11回行い、その都度市政へ皆さんの声を伝えてまいりました。また、令和5年3月議会にて「子どものために保育士配置基準の抜本的な見直しを求める意見書」を提案。全議員から賛同いただき、国へ提出しました。



意見書案第1号

子どものために保育士配置基準の抜本的な見直しと保育士等の処遇改善を求める意見書

コロナ禍で保育施設的重要性は広く社会に認識されるようになったが、その一方で、度重なる保育施設での事件事故が多発しており、子どもを預ける保護者の中では、保育の安全性を不安視する声が多くなっている。子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命を守るためにも保育士の配置基準の見直しと保育士等の処遇改善が急務となっている。

保育士配置基準全体は55年前、特に4・5歳児の配置基準(子ども30人に保育士1人)は74年前から変わっていない。この間、幼保一元化や保育所保育指針の改定により、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示された。そのため、保育の在り方はより一層教育的な要素を含む子どもへの関わりが必

その他の活動

福島大学が母体となっている議員インターンシップの受け入れを昨年2月から3回にわたって行い、計6名の学生さんが私のもとで議員活動などを学びました。また、昨年11月には女性議員に関する県主催の大学生向けのイベントにゲストとして招かれ、女性議員としての考えや仕事と私生活の両立などについて話しました。また、より地域に貢献できるよう、今年2月に会派6名でチャレンジした「防災士」の試験は全員が合格し、資格を取得することができました!



実現しました!

安心して子どもを産める手助けに

妊産婦医療費助成事業が開始されました!

令和2年4月から施行

妊娠4か月から産後翌月末までの妊産婦は妊婦検診以外で病院にかかった医療費(保険診療分)が全額助成されるという仕組みです。4年前の選挙公約を果たすことができました。



共働き世帯の重要課題

放課後児童クラブの運営事業の充実と民間児童クラブの利用料金助成!

令和4年4月から施行

新型コロナウイルスがまん延し始めた令和2年に、旧市内の放課後児童クラブを中心に利用児童数の増加により新たに預かることの出来ない学年が6つのクラブで生まれました。それを踏まえ、職員へのアンケートを実施した上で、令和2年9月議会にて

問題提起しました。保育の質を向上させる研修費を含む放課後児童クラブ運営費の拡充と、民間児童クラブの利用料金(4~6年生対象)月3,000円まで助成する2つの事業につなげることができました。



高齢の方や障がいをもつ方の手助けに

タクシー助成券が活用できる範囲を広げました!

令和5年4月から施行

免許を返納した方や、障がいを持つ方が利用できる“地域移動支援事業”。その事業で活用できるタクシー助成券は今まで出発地、目的地ともに白河市内と限定されており、「かかりつけの病院まで行けない」という問題と、タクシー会社自体も「利用でき

る範囲をお客様に説明しなければならない」という業務負担が生じていることがわかりました。令和4年6月議会で利用範囲を広げてほしいという提案をしたところ、今年度から出発地・目的地どちらかが白河市内であれば利用できるようになりました!



その他、地域の防災対策強化、市内美化活動の見える化など、皆さんの様々な声を形にしていきました!



大木えり6つの柱「これからの目標」

① 議員・議会

- SNS、動画、うららか白河による議員活動を日々発信

② 子育て

- 子育て当事者、幼保資格者の視点で市政に問題提起、提案
- 子育て世帯の複雑な行政の申請、相談窓口のシンプル化

③ こども

- こどもでも町づくり、ルールづくりに参加
- こどもの権利を守る

④ 若者

- スケートボードパーク、ストリートバスケットコート等の新設
- 各関係機関と学校との情報連携を強化し、雇用安定を目指す

⑤ 女性の活躍

- 男女平等にかかる、あらゆるシステムづくりの提案
- 女性が働きやすく活躍しやすい企業環境づくり

⑥ 環境・暮らしの問題

- ゴミ、ゴミ袋問題を調査研究
- 環境を害さない景観・水質保全方法
- どんな年代でも、個性・障がいがあっても暮らせる社会、環境づくり

下記SNS・HPで政策の詳しい内容を掲載・発信しています!暮らしのことでご要望がある方はお気軽にご連絡ください。

✉ info@oki-eri.com

HP oki-eri.com



YouTube @user-of4tv6vt8n



instagram erioki1127



Twitter @erioki1127

